

# 小学部 個別学習の実践

～本校での個別学習の実践より～

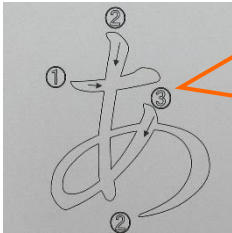
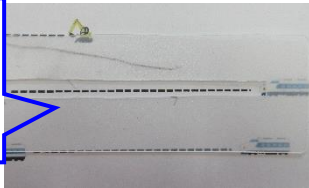
今回は、小学部1年生の個別学習の紹介をします。本校では、朝の会后、一人一人に付けたい力を伸ばす大切な時間として、15分間の個別学習を行っています。国語・算数・自立活動など曜日によって活動内容が違います。今回は、1年生が実践している内容を、国語・算数・自立活動に分けて紹介します。

## 国語



線引きボード  
(100均の半透明なボード)

ボードが半透明なので、絵が見え、始点が分かります。



矢印や番号でもわからない時は、一緒に指でなぞったり、「ここからだよ。」と指をさして始点を示したりすることで、正確に身につくきっかけになります。

### 線引き・ひらがなプリント

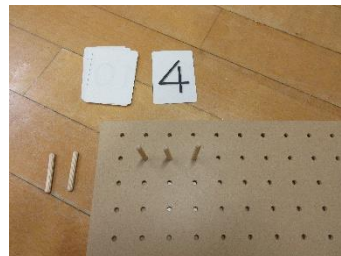
線引きでは、線引きボードを使い、1本の線を真っすぐに引く練習をしています。ボードを半透明にすることで、始点と終点に描かれた好きなキャラクターが見え、真っすぐ引くことができました。好きなキャラクターが描かれていることで、意欲的に取り組むことができます。ひらがなでは、正しい書き順で書けるよう練習しています。ひらがなに矢印と番号をつけることで、筆順や書く方向が分かり、正しい書き順で書けるようになりました。徐々に番号や矢印をなくしたり、枠の中への視写に移行するなど、段階的に取り組むことができます。

## 算数

### 文字と数量

数字と数量を示す〇が書いてある紙コップに、数の分だけ棒を入れます。入れた後、一緒に棒の数を数えて確認し、定着できるようにします。1本多く渡して、必要か必要でないかを考える活動を入れることで、正しく理解できているか確かめます。一致させることができたなら、数のみのカードを用意し、提示されたカードと同じ数分ペグ差しや玉入れ、キャップ入れ、洗濯ばさみ付け等、様々な素材を使って取り組みます。素材が変わることで、意欲的に取り組むことができ、どのようなものでも正しく数量を数えることができるようになりました。

ヒントがある物からない物へ。段階を踏んで取り組むと、より身につきます。



## 自立活動



スプーンですくって別の容器に運ぶ。



トングの持ち方や使い方、力の入れ方を一緒に行う。



箸でつまんで同じ場所に運ぶ。

箸でつまんで決められた場所に運ぶ。



### 箸・スプーンの練習

箸やスプーンを使えるようにするために、実際の食事の場面以外でも持ち方や動かし方の練習をしています。初めはトングを使って指先きに力を入れる練習をした後、訓練箸を使って動かす練習をします。訓練箸でつまんだ物を所定の場所に入れることで、目と手の協応を高めます。